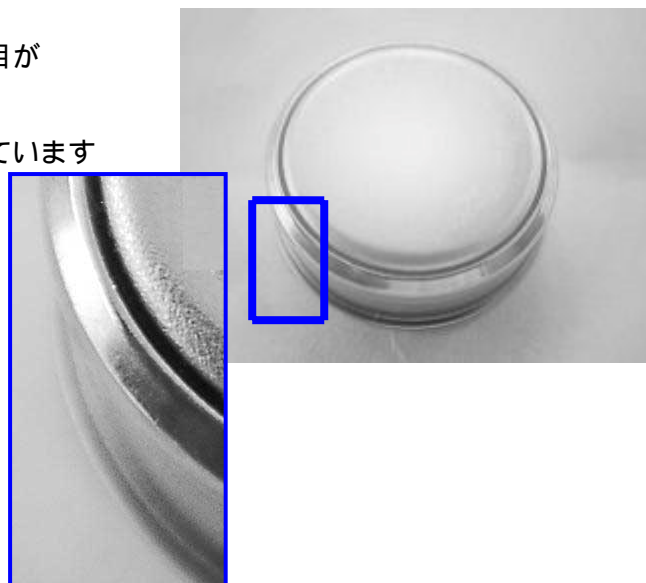


防水対策について

製品には、構造上、右の写真のように、接合部に継目があります。

その隙間のようなその継目には、充填材が詰められていますので、日常生活防水程度の防水性能はあります。

しかし、液体に浸かる時間が長い場合や高温水に浸ける場合あるいは、日射のあたる屋外に長期間放置すると、その継目の防水シールが切れて、内部に水が入り、内蔵電池等が腐食して故障します。



その防水対策として、別売の専用**防水キャップ**や専用**耐圧防水カプセル**を利用するか、あるいはビニール袋等に入れて**完全密封**にし、水に直接触れないようにしてご利用下さい。

【注記】 チャック付きのビニール袋に入れるだけでは、中に水が浸み込む可能性がありますので、完全密封とはなりません。チャック部を接着剤で塞ぐか、あるいはシール機やシーラーと呼ばれるもので袋の開口部をヒートシール（熱圧着）で塞いでください。

また、どうしても、専用キャップやビニール袋等を使うことができない状況では、右の写真の黄色で示した箇所のように、その継目の目地に沿って、防水性コーキング材（バスコークなど）や耐水性のシリコン系やエポキシ系接着剤で目張りをして防水処理してください。また、用途に応じて、耐熱性、耐寒性、耐候性、耐久性、耐油性、耐薬品性など、適した耐性のあるシール材を選択してください。



ただし、その目張りしたシール材が、

下の写真のように、緑色で示した箇所（本体の上面と側面）に塗った場合、パソコンと通信できない場合があります。その箇所も塗ってしまった場合は、シール剤が乾燥した後に、専用接続ケーブルを介して、パソコンと通信できるかを確認してください。もし、通信できない場合は、左の写真の緑色で示した箇所に付着したシール剤の一部を剥がして導通できるようにし、通信できる状態にご利用ください。

